

墨田区における文化芸術関係者への 新型コロナウイルスの影響に関する アンケート調査 報告書

調査主体：公益財団法人墨田区文化振興財団

調査の要約

文化芸術活動への影響

- 調査期間：2020年7月14日（火）～8月3日（月）
- 墨田区で文化芸術に関わる個人及び事業所が調査対象。
有効回答数は109件（個人が81件、 事業所が28件）
- **約9割**は、感染拡大防止のために中止・延期の影響がある
（個人95％、事業所89％）

損失額の規模と傾向

- 延期・中止による2～6月收入の損失積算額の平均額は、**個人が約87万円、事業所が約326万円。**
- **個人は、実演芸術、企画制作、文化芸術の専業者**の損失積算額の平均額が大きい。
- **事業所は、損失積算額、活動再開のための対策経費ともに、施設運営**の平均額が大きい。

現在の活動状況と、今後1～2年の活動見込み

- 個人は、現在は**公演等は中止・延期して、準備や制作を行なっている**人が多く、1～2年後は**感染予防対策を取ったうえでそれらを実施する予定**の人が多い。
- 事業所は、現在・1～2年後ともに、**感染予防対策を取ったうえで公演等を実施している**ところが最も多い。

現在困っていること

- 個人の困りごとは、**活動機会が失われたことが最も多く、ついで、活動再開の基準やタイミングがわからないこと、活動計画が立てられないことが多い。**
- 事業所の困りごとは、**事業の中止・延期による損失や活動機会が失われたことが最も多く、ついで、事業計画や経営の見通しが立たないこと、観客や顧客が戻ってこないことが多い。**

どのような支援が必要か

- **事業所**は、「延期・中止による損失分の支援」「オンライン化・防疫にかかる経費の支援」「今後の公演・展示・イベント・教室等の開催にかかる経費の支援」など**金銭的支援のニーズ**が高い。
- **個人**は、**金銭的支援のニーズに加えて**、「オンライン化・防疫のためのツールや技術」や「今後、同様の事態を想定した活動方法」に関する**情報提供や相談のニーズ**も同様に高い。

既存の支援制度の利用状況と困っていること

- **個人**は、**特別定額給付金**の利用が最も多く、他はあまり利用されていない。
- **事業所**は、収入の減少があった事業者に対する**給付金**（持続化給付金、家賃支援給付金等）、**東京都感染拡大防止協力金**の利用が多く、他はあまり利用されていない。
- **個人・事業所**ともに、**どの支援制度を利用したらよいか**わからないという悩みが多い。

調査の概要

調査目的

墨田区を活動拠点としている文化芸術に関わる個人及び事業所が、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う活動自粛の要請等によって受けた影響や、現在の活動再開状況及びニーズ等の実態を把握し、今後の行政及び財団の文化芸術への支援の必要性や内容、方法の検討に資するものとする。

調査対象

- 墨田区を主な活動拠点とし、文化芸術に関わる個人・事業所

調査方法

- ウェブアンケート・FAX
- 無記名による回答

調査期間

- 2020年7月14日（火）から8月3日（月）まで【21日間】

回答数

- 有効回答数は合計109件（個人対象81件、団体・事業所対象28件）

	個人対象	事業所対象	合計
回答総数	88	30	118
無効回答*	7	2	8
有効回答数	81	28	109

※ 重複回答、活動地が墨田区外の回答は無効回答とした。

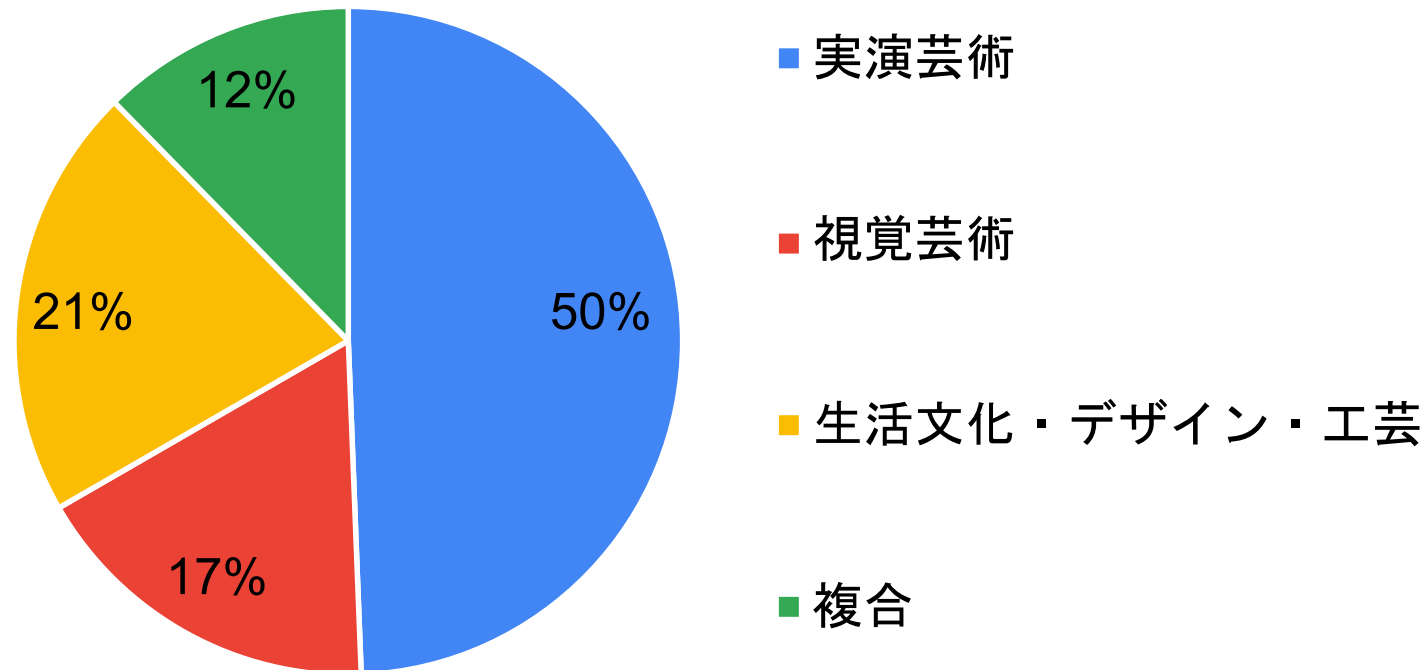
調査内容

① 個人対象アンケート	ページ
主たる表現分野	15
主たる技能領域	16
文化芸術活動からの収入の有無	17
感染拡大防止のための中止・延期の有無	20
延期・中止による収入の損失積算額	21
現在の活動状況	25
1～2年後の活動見込み	28
現在困っていること	29
必要としている支援	30
活用している、または活用を検討している支援制度	31
支援制度を活用する上で困っていること	32
現在行っている工夫、意見	52

② 事業所対象アンケート	
経営形態・活動開始年・事業所の従業者数	34
主たる表現分野	37
主たる技能領域	38
感染拡大防止のための中止・延期があるか	39
延期・中止による収入の損失積算額	40
現在の活動状況	42
活動再開のための対策にかかった経費	43
1～2年後の活動見込み	44
現在困っていること	45
必要としている支援	47
活用している、または活用を検討している支援制度	49
支援制度を活用する上で困っていること	50
現在行っている工夫、意見	52

個人対象アンケート

個人対象アンケート | 主たる表現分野

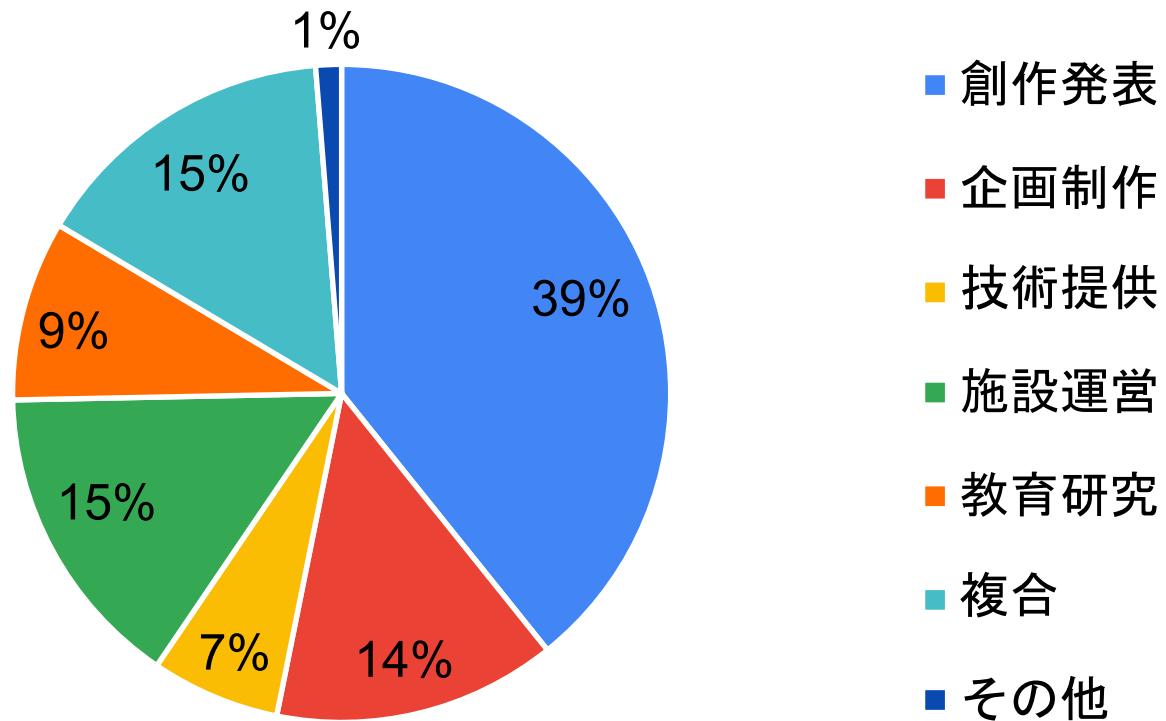


N=81 単一回答

※ 3 分野に統合

※ 「その他」と回答があったものについては、具体的な記述内容に応じて分類した

個人対象アンケート | 主たる技能領域

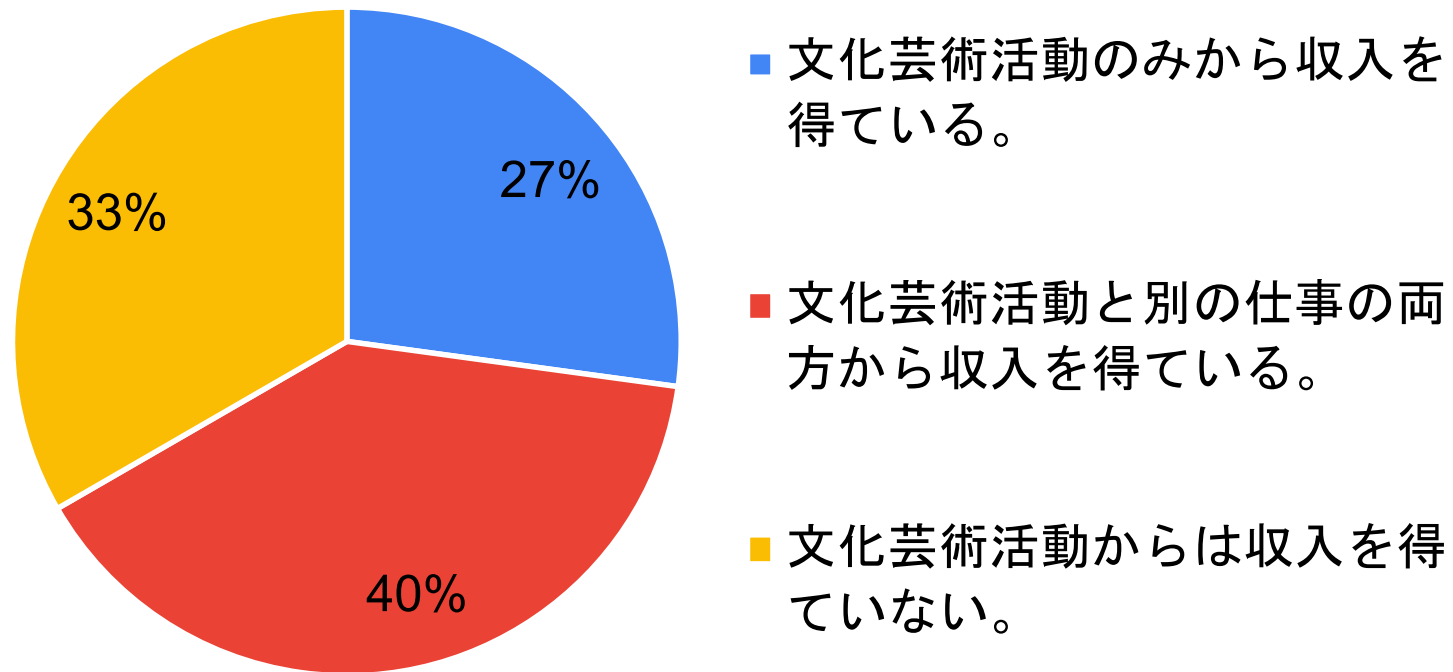


N=81 単一回答

※「その他」と回答があったものについては、具体的な記述内容に応じて分類した
分類不能な回答は「その他」とした（例：和楽器の製材輸入卸）

個人対象アンケート | 文化芸術活動からの収入の有無

約7割が文化芸術活動を収入源としており、専門者は約3割



N=81 単一回答

個人対象アンケート | 表現分野別の文化芸術活動からの収入の有無

実演芸術はプロ（専業・兼業）とアマチュアが約半数ずつ、
それ以外の分野は約7割以上がプロ

	専業	兼業	アマチュア
実演芸術	18%	30%	53%
視覚芸術	43%	36%	21%
生活文化・ デザイン・工芸	41%	59%	0%
複合	20%	50%	30%

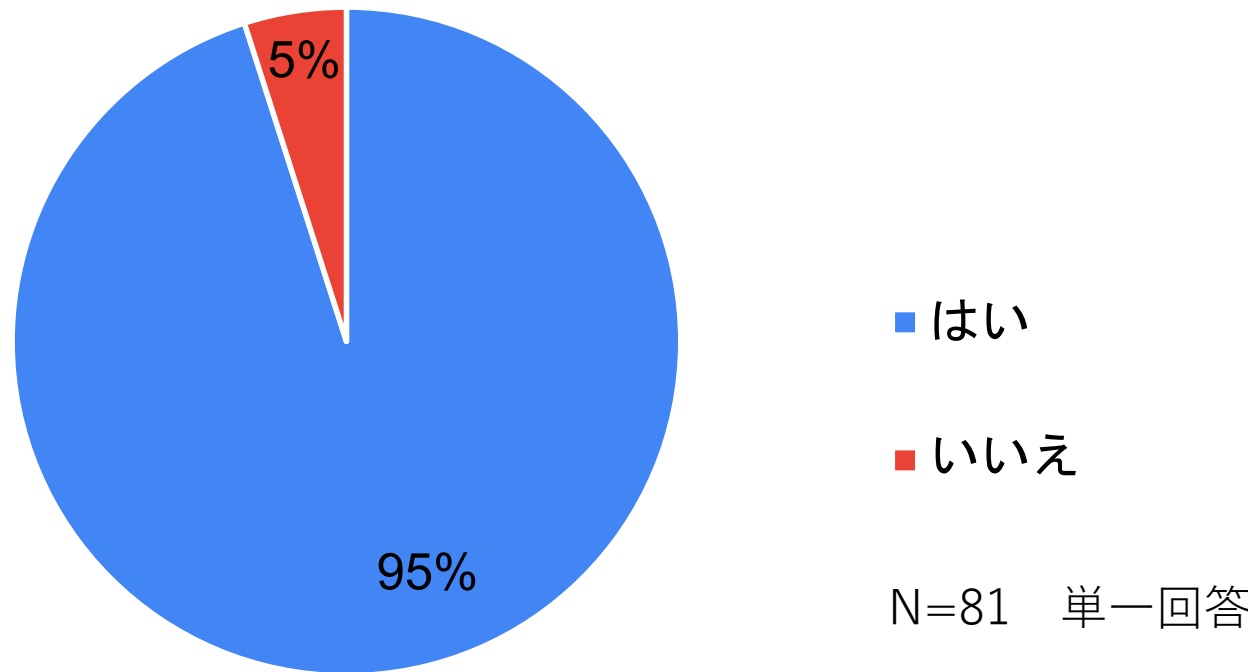
個人対象アンケート | 技能領域別の文化芸術活動からの収入の有無

創作発表はプロ・アマが約半数ずつ、それ以外の領域は約7割以上がプロ

	専業	兼業	アマチュア
創作発表	13%	32%	55%
企画制作	18%	64%	18%
技術提供	60%	40%	0%
施設運営	42%	50%	8%
教育研究	43%	29%	29%
複合	33%	33%	33%

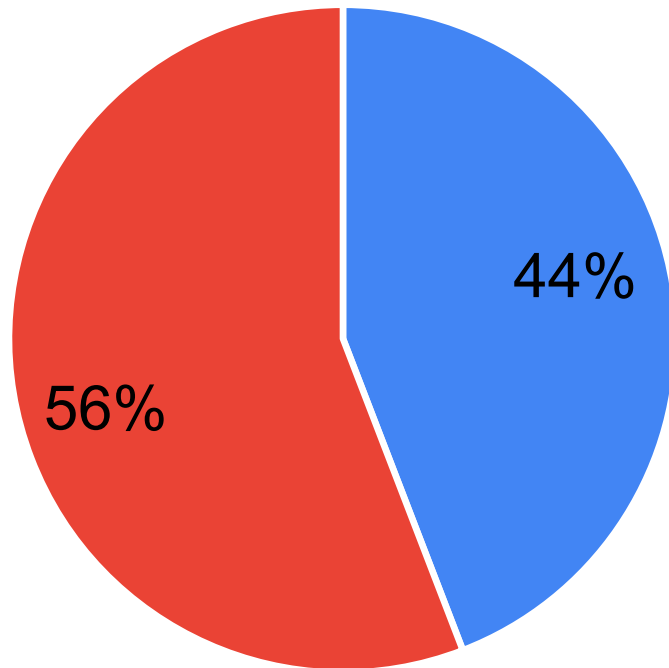
個人対象アンケート | 感染拡大防止のための中止・延期があるか

9割以上に、感染拡大防止のための中止・延期の影響がある



個人対象アンケート | 延期・中止による収入の損失積算額

中止・延期があった人のうち5割以上は、収入の損失が発生しており、2月～6月の総額は約6725万円にのぼる。



■ 収入の損失はない ■ 収入の損失がある

N=77 単一回答

損失積算額

総 額 67,250,230円

平均値 873,380円

中央値 100,000円

※平均値・中央値の計算には、中止・延期があり損失額0円のデータも含む（以下同じ）

個人対象アンケート | 表現分野別の収入の損失額

実演芸術の損失額の中央値は0円だが平均額が大きいことから、実演芸術に関わる一部の人に大きな損失が集中していることがわかる。

	総額	平均値	中央値
実演芸術	4045万円	104万円	0円
視覚芸術	890万円	64万円	20万円
生活文化・ デザイン・工芸	1460万円	97万円	30万円
複合	330万円	37万円	15万円

個人対象アンケート | 技能領域別の収入の損失額

企画制作の平均損失額が最も大きく、ついで施設運営が大きい。

	総額	平均値	中央値
創作発表	615万円	21万円	0円
企画制作	1140万円	114万円	20万円
技術提供	270万円	54万円	50万円
施設運営	1045万円	95万円	20万円
教育研究	130万円	18万円	10万円
複合	525万円	48万円	30万円

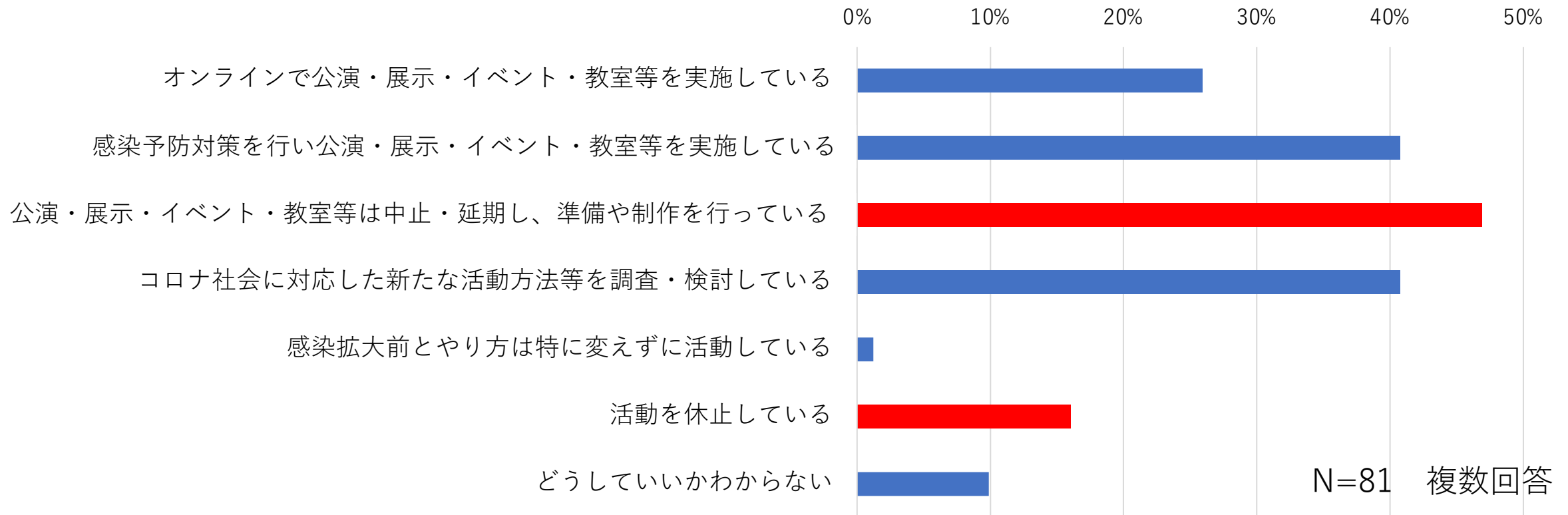
個人対象アンケート | 文化芸術活動からの収入の有無別の収入の損失額

文化芸術活動を主な収入源としている人ほど、大きな損失を抱えている。

	総額	平均値	中央値
専業	4420万円	210万円	45万円
兼業	2305万円	74万円	30万円
アマチュア	0円	0円	0円

個人対象アンケート | 現在の活動状況

約3～4割はオンライン化または感染防止対策を取って再開しているものの、公演等を中止・延期して準備のみ行っている人、活動休止している人を合わせると約6割にのぼる。



個人対象アンケート | 技能領域別の現在の活動状況

教育研究の7割は感染予防対策をとって活動しているが、その他の技能領域では、公演等を中止・延期または活動休止したり、新たな活動方法を検討している人が多い。

	オンラインで活動再開	感染予防対策で活動再開	公演等は中止・延期し準備のみ	新たな活動方法を検討	従来どおり活動	活動休止
創作発表	32%	39%	55%	39%	0%	16%
企画制作	27%	36%	82%	55%	0%	9%
技術提供	20%	0%	20%	40%	0%	40%
施設運営	33%	42%	58%	58%	0%	8%
教育研究	14%	71%	14%	29%	14%	14%
複合	17%	42%	25%	33%	0%	25%

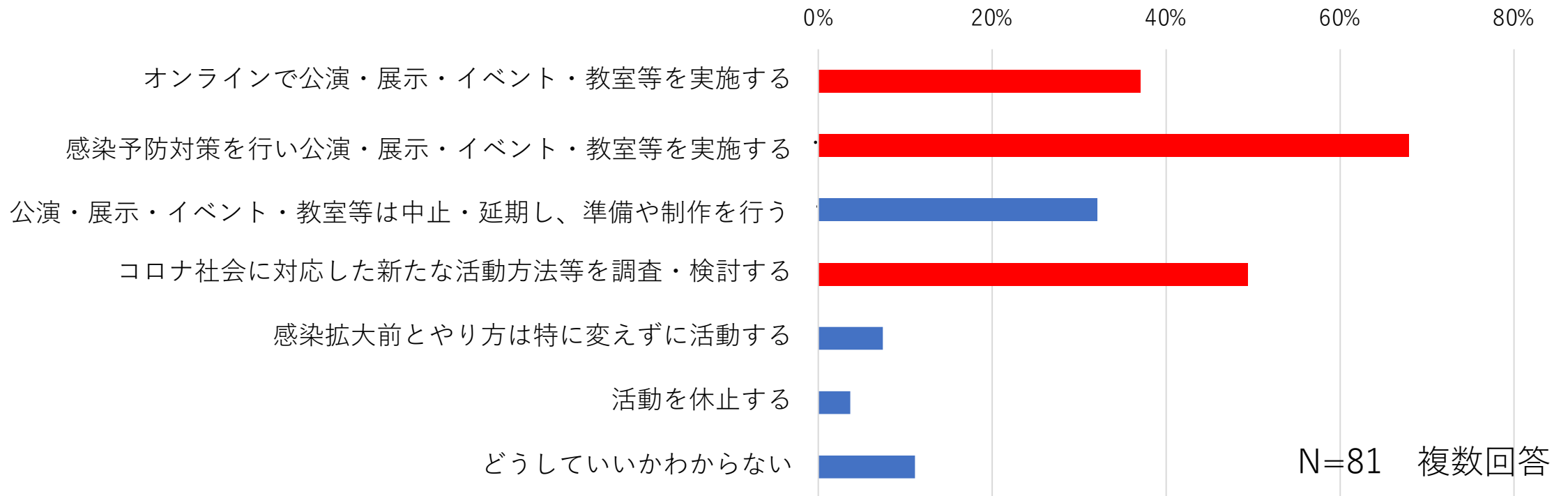
個人対象アンケート | 文化芸術活動からの収入の有無別の現在の活動状況

文化芸術活動を専業としている人は、約6割が感染予防対策を取り、約4割がオンラインで活動しているが、兼業・アマチュアの方は公演等は中止・延期して準備等を行っている人が多く、特にアマチュアは活動休止している人が約3割にのぼる。

	オンラインで 活動再開	感染予防対策 で活動再開	公演等は 中止・延期し 準備のみ	新たな活動方 法を検討	従来どおり 活動	活動休止
専業	41%	64%	32%	36%	5%	9%
兼業	25%	38%	63%	59%	0%	6%
アマ チュア	15%	26%	41%	22%	0%	33%

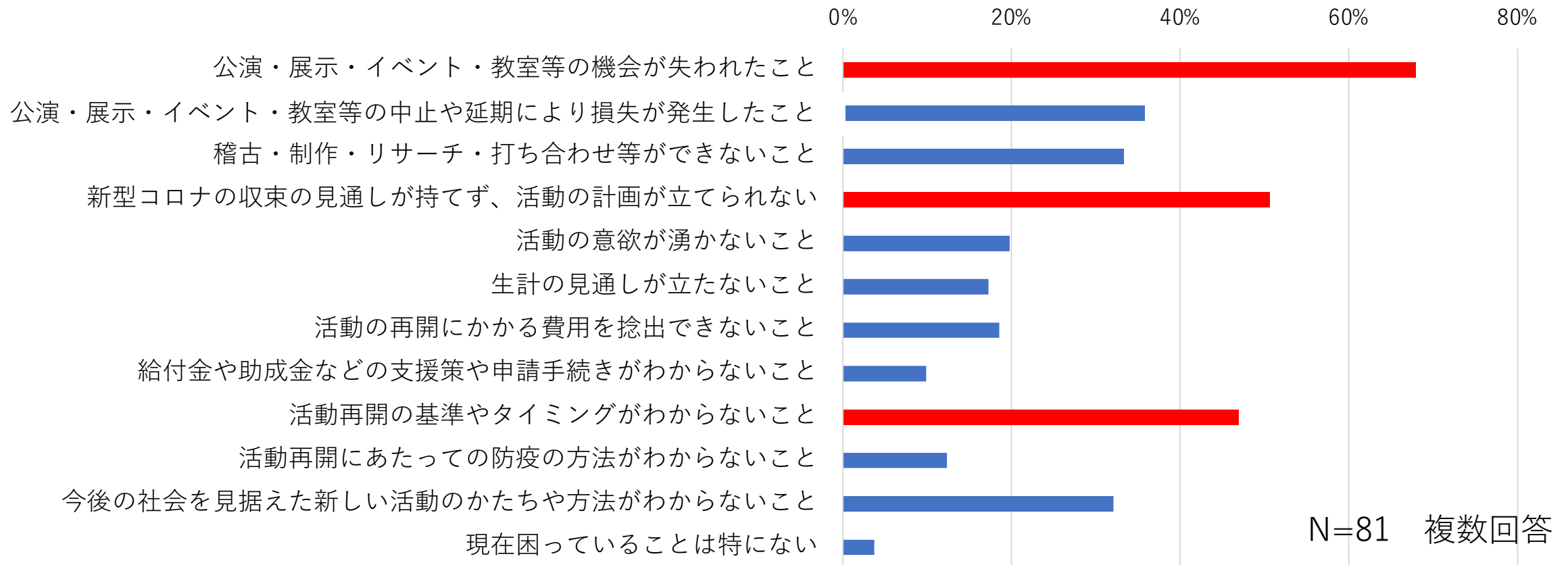
個人対象アンケート | 1～2年後の活動見込み

1～2年後には、約7割が感染防止対策を取り、約4割がオンラインで活動を再開し、約5割が新たな活動方法を検討する予定。
しかし、約3割は1～2年後も公演等の中止・延期が予想される。



個人対象アンケート | 現在困っていること

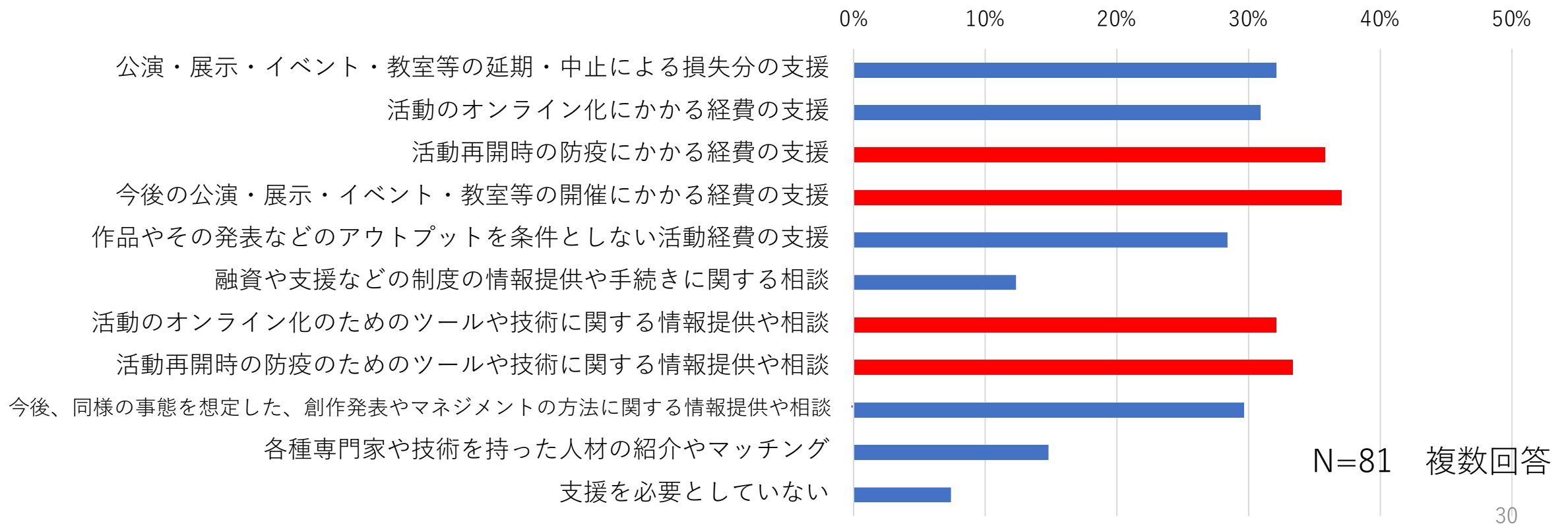
約7割は活動機会が失われたことに困っており、約5割は再開基準やタイミングがわからず、今後の計画が立てられないことに困っている。



個人対象アンケート | 必要としている支援

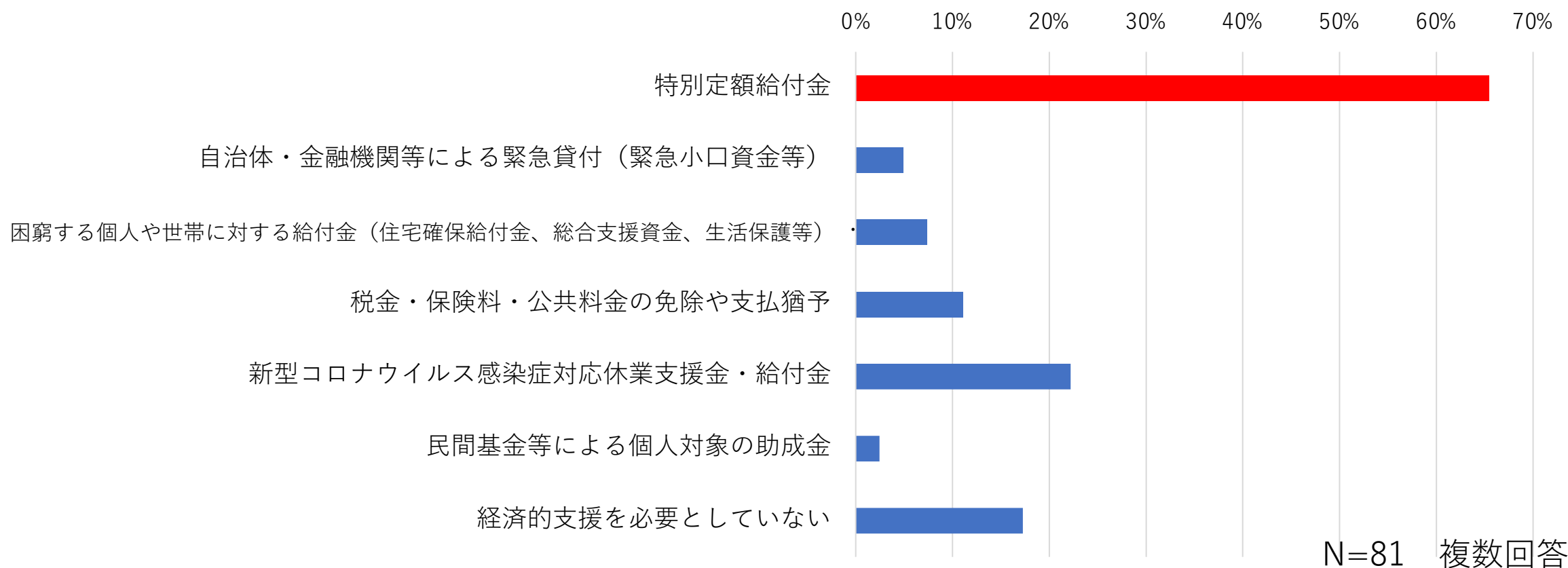
金銭的支援、情報支援ともにニーズが大きい。

金銭的支援では、活動そのものや防疫にかかる経費の支援のニーズが大きく、
情報支援では、オンライン化・防疫の方法等に関するニーズが大きい。



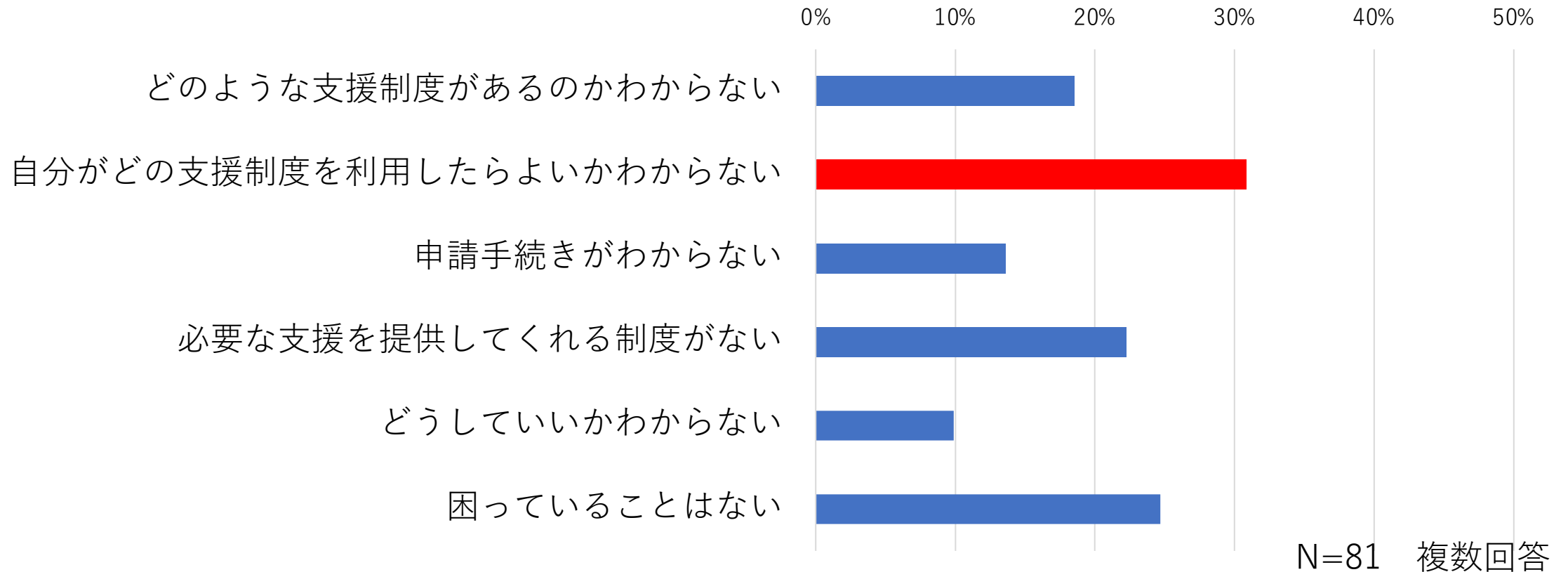
個人対象アンケート | 活用している、または活用を検討している支援制度

約7割が特別定額給付金を利用。それ以外は1～2割の利用にとどまる。



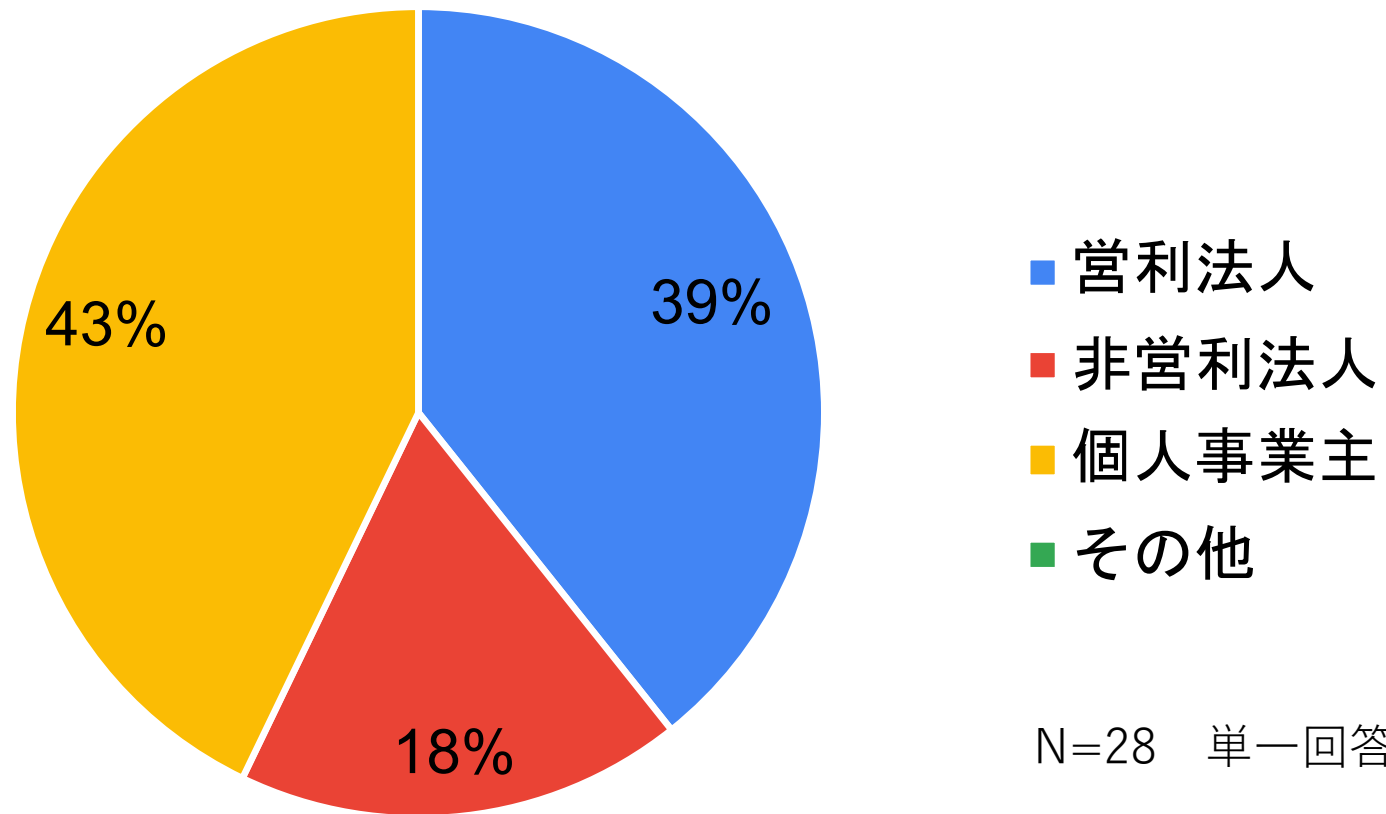
個人対象アンケート | 既存の支援制度を活用する上で困っていること

約 3 割が、どの支援制度を利用したらよいかわからないことに困っている。

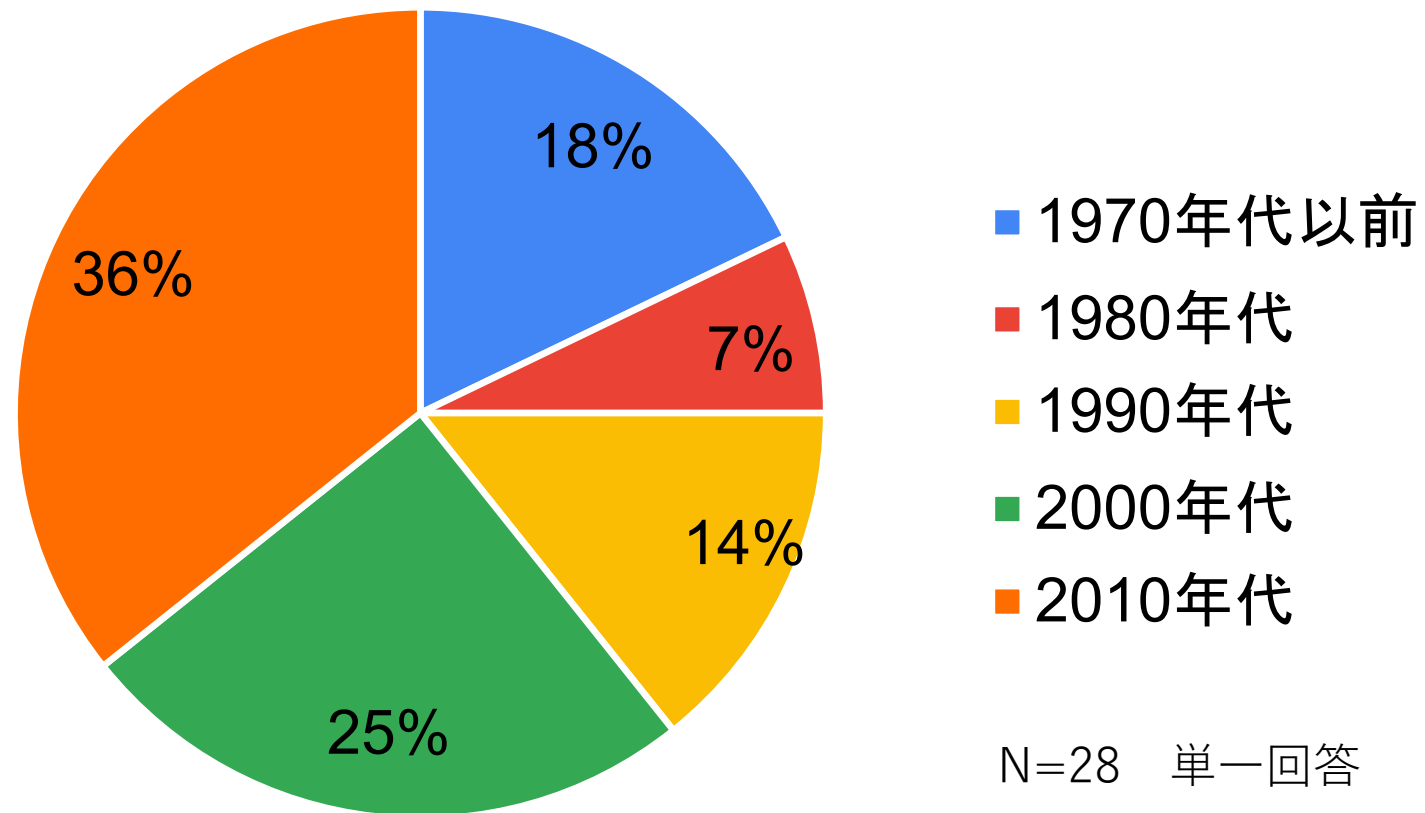


事業所対象アンケート

事業所対象アンケート | 経営形態



事業所対象アンケート | 活動開始年

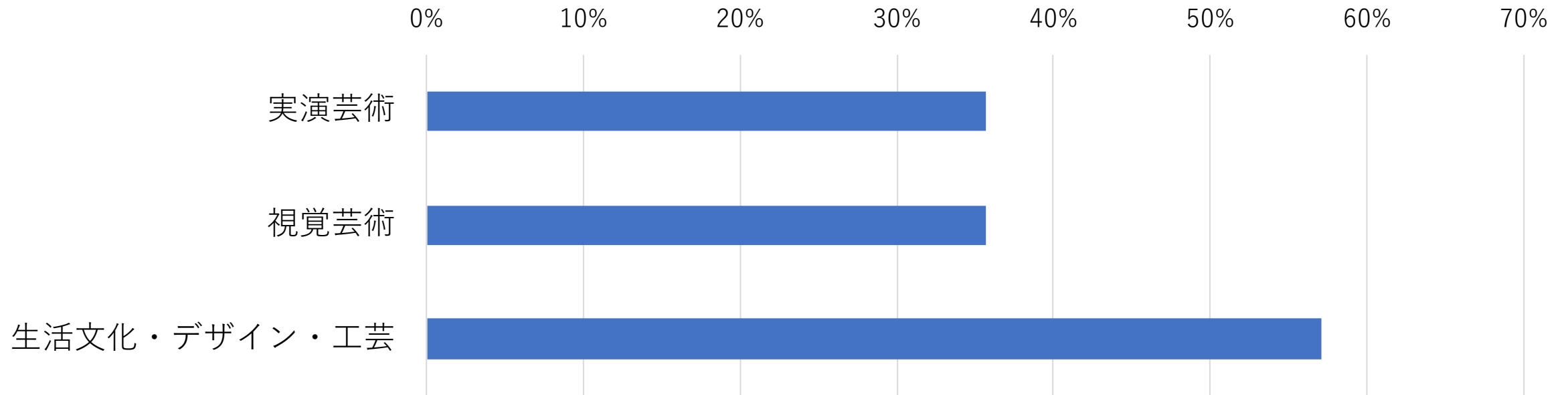


事業所対象アンケート | 従業者数

従業者数の合計は平均で8.6人、有償の従業者の平均は8.2人。
特に非営利法人において有償の従業者が多い。

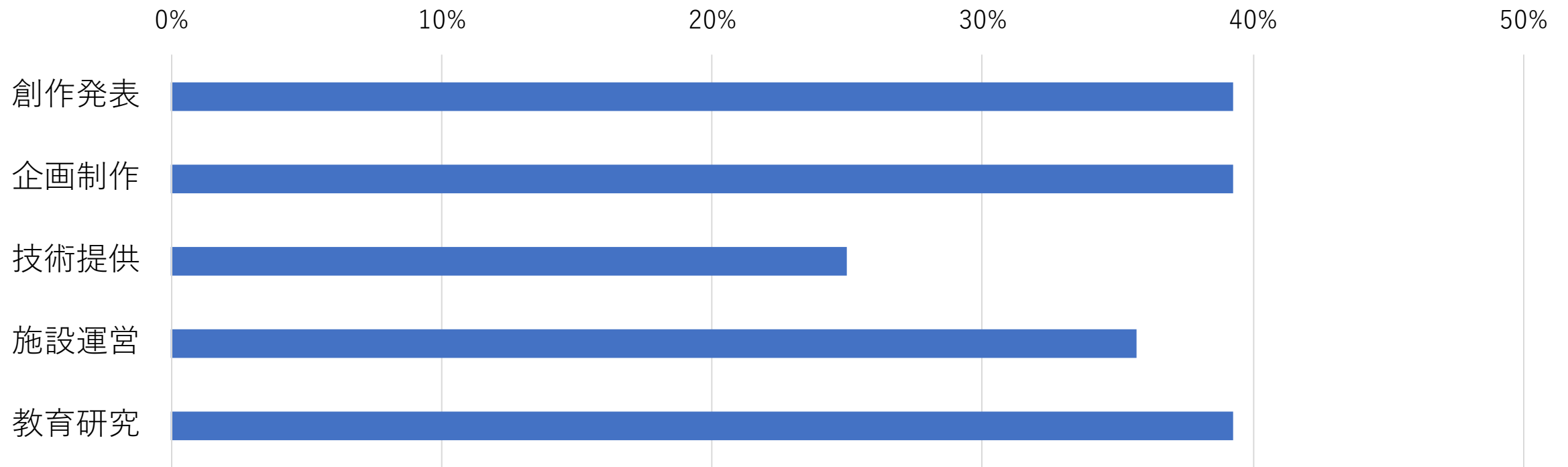
	有償 (平均 最大値) [人]		無償 (平均 最大値) [人]	
営利法人	7.0	25	1.3	10
非営利法人	28.4	67	0.2	1
個人事業主	1.6	2	0.3	1

事業所対象アンケート | 主たる表現分野



N=28 複数回答

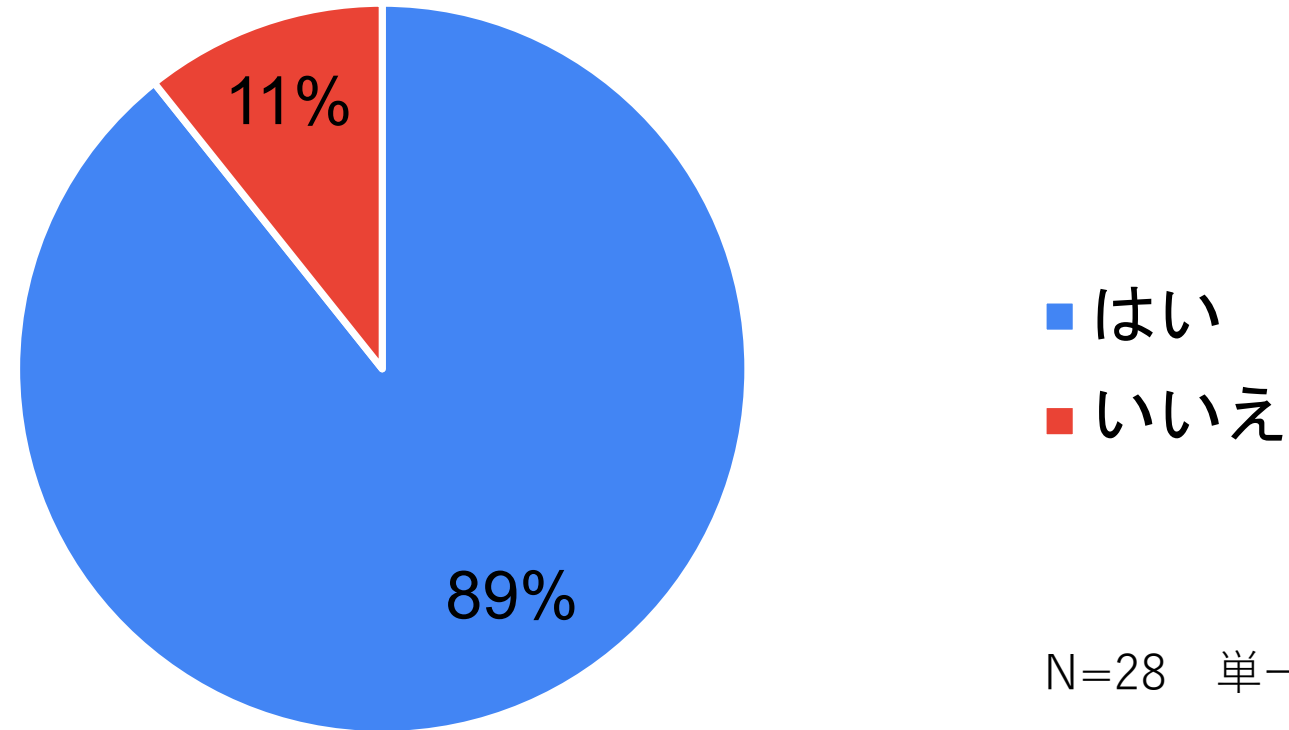
事業所対象アンケート | 主たる技能領域



N=28 複数回答

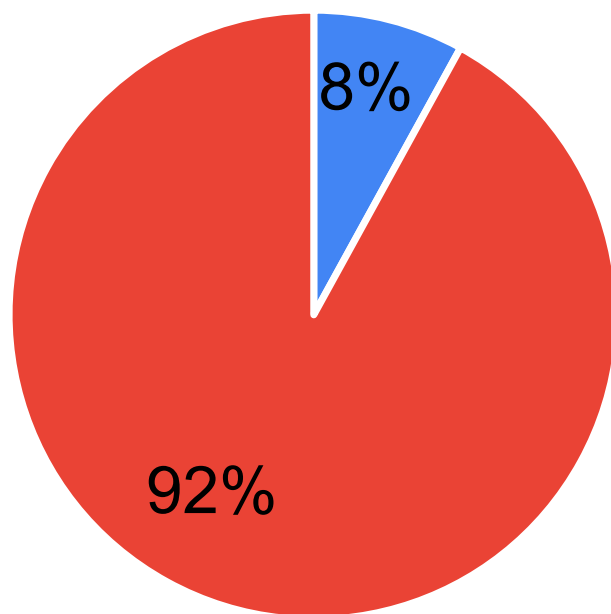
事業所対象アンケート | 感染拡大防止のための中止・延期があるか

約9割に、感染拡大防止のための中止・延期の影響がある



事業所対象アンケート | 中止・延期による収入の積算損失額

中止・延期があった事業所のうち9割以上は、収入の損失が発生しており、2月～6月の総額は約8139万円にのぼる。



損失積算額

総 額	81,392,300円
平均値	3,255,692円
中央値	500,000円

■ 収入の損失はない ■ 収入の損失がある

N=25 単一回答

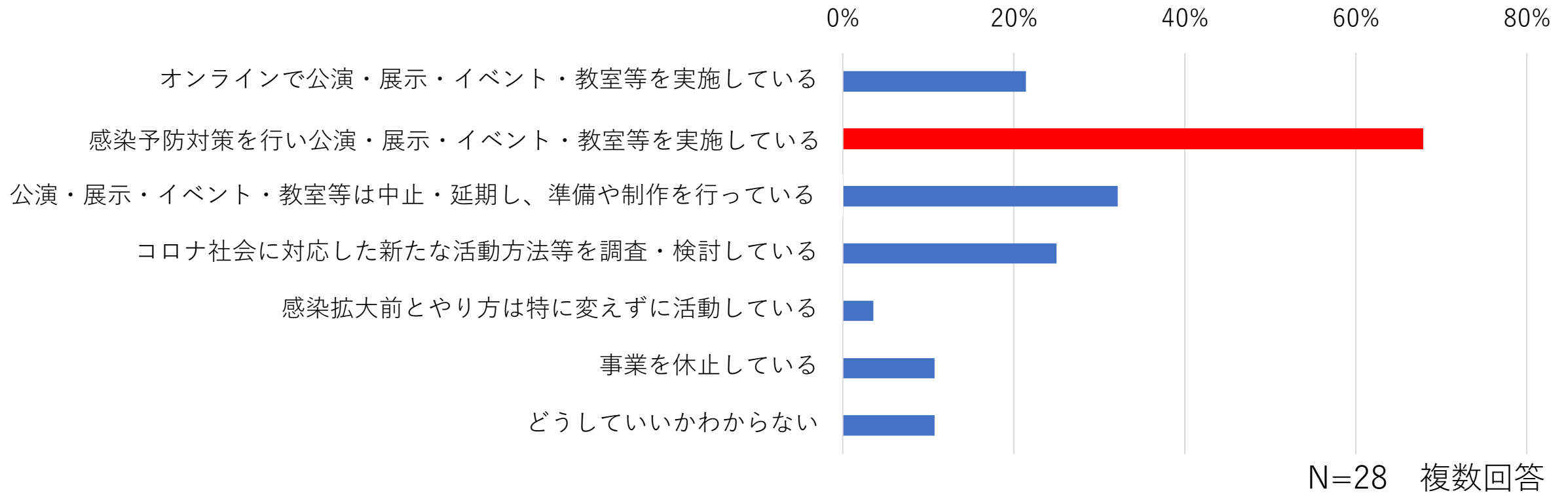
事業所対象アンケート | 技能領域別の収入の損失額

施設運営の損失額が平均値・中央値ともに最も大きく、企画制作、教育研究がそれに続く。

	総額	平均値	中央値
創作発表	496万円	50万円	25万円
企画制作	4374万円	437万円	50万円
技術提供	450万円	75万円	50万円
施設運営	5313万円	664万円	175万円
教育研究	4299万円	390万円	50万円

事業所対象アンケート | 現在の活動状況

約7割の事業所が、感染予防対策を取って事業を再開している。



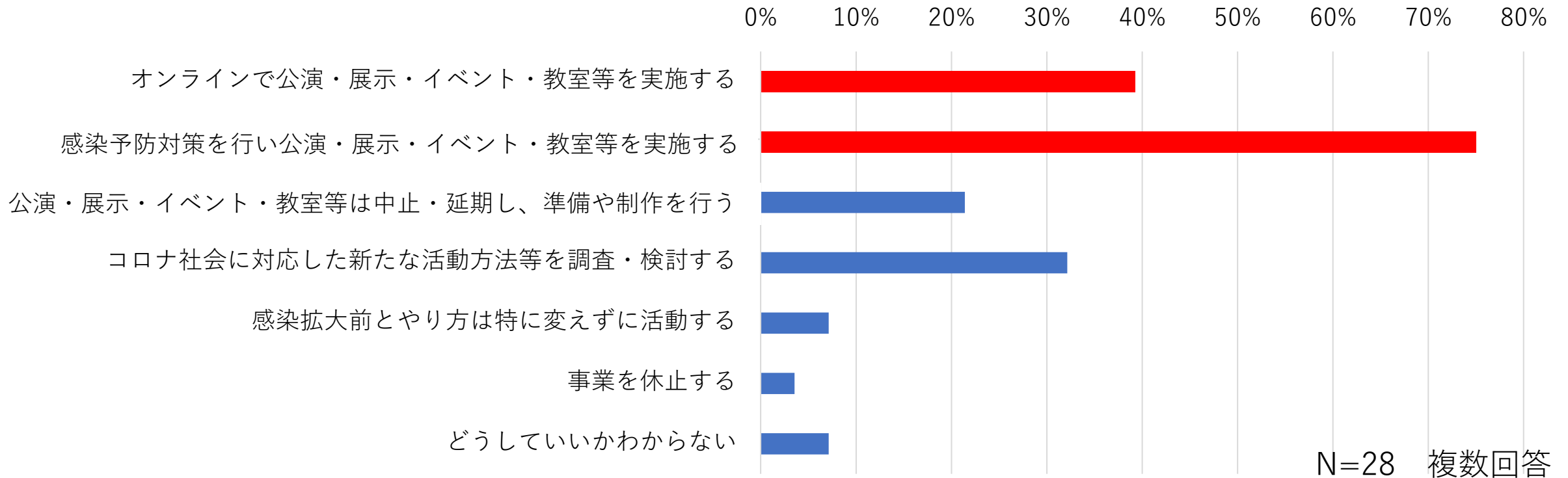
事業所対象アンケート | 技能領域別の活動再開のための対策にかかった経費

活動再開のための対策にかかった経費は平均約21万円。
特に施設運営に携わる事業所において負担額が大きい。

	総額	平均値	中央値
創作発表	148万円	13万円	2万円
企画制作	327万円	30万円	15万円
技術提供	240万円	34万円	20万円
施設運営	418万円	42万円	23万円
教育研究	154万円	14万円	10万円

事業所対象アンケート | 1～2年後の活動見込み

7割以上の事業所が、感染予防対策を取って事業を実施する予定。
活動のオンライン化を予定している事業所も約4割ある。

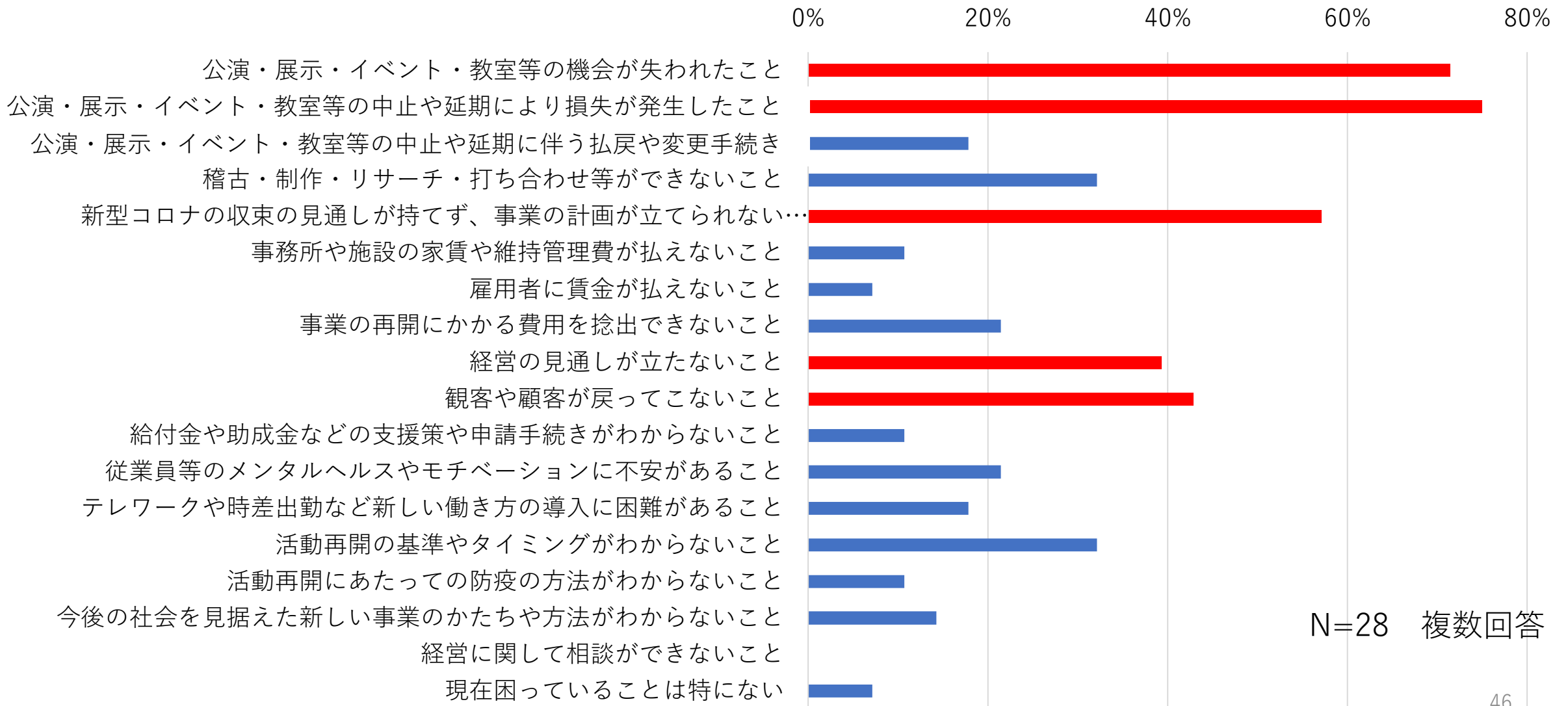


事業所対象アンケート | 現在困っていること

最も多い悩みは、公演等の中止・延期による活動機会と収入の損失で、7割以上の事業所が困っている。

次に多いのが、新型コロナの収束の見通しが立たず、事業計画を立てられないこと、経営の見通しが立たないこと、観客や顧客が戻ってこないこととなっている。

事業所対象アンケート | 現在困っていること



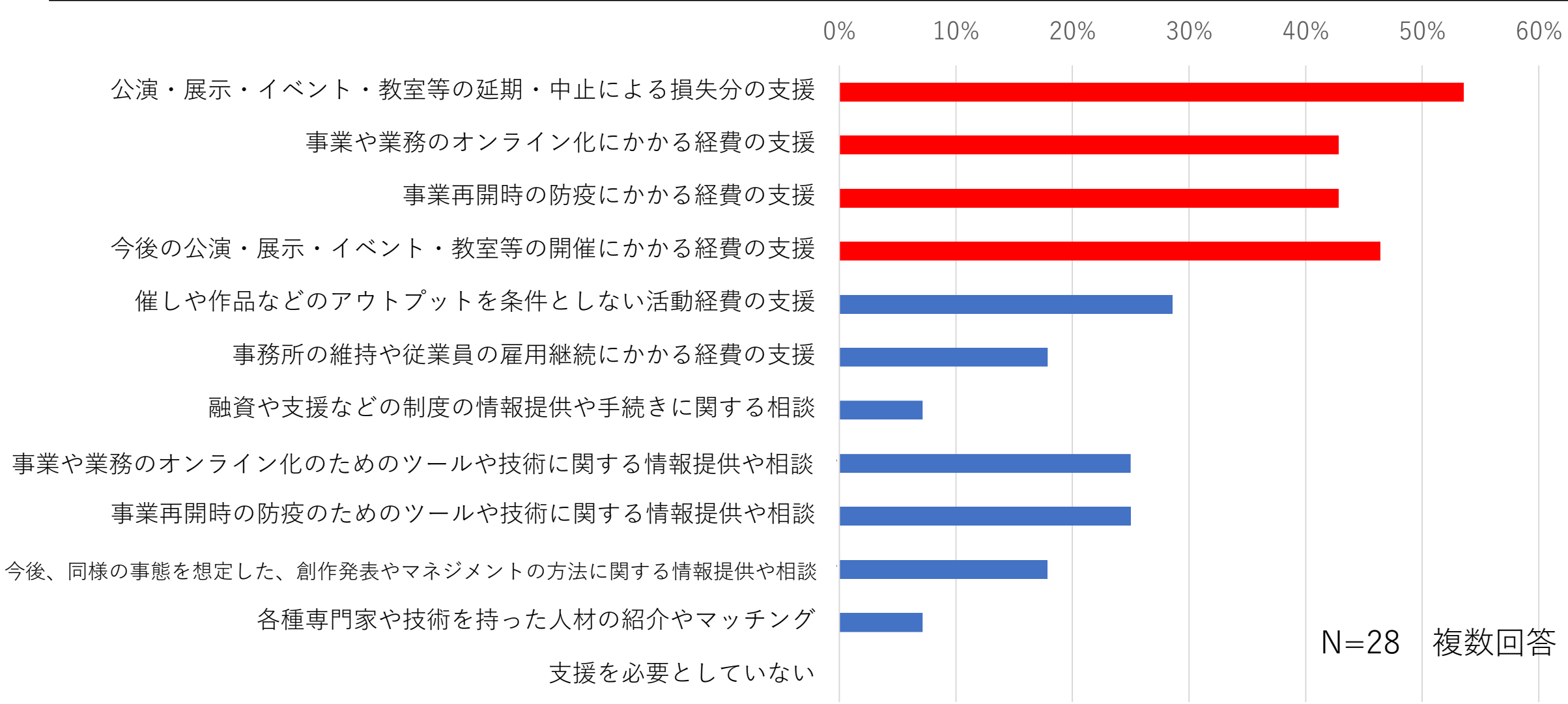
事業所対象アンケート | 必要としている支援

最も必要としている支援は、公演等の中止・延期による損失分の補填で、5割以上の事業所が必要としている。

次に必要としている支援は、事業のオンライン化や防疫にかかる経費の支援や、事業実施にかかる経費の支援など、活動再開時の金銭的支援。

情報提供・相談に関するニーズは、金銭的支援に比べて少ない。

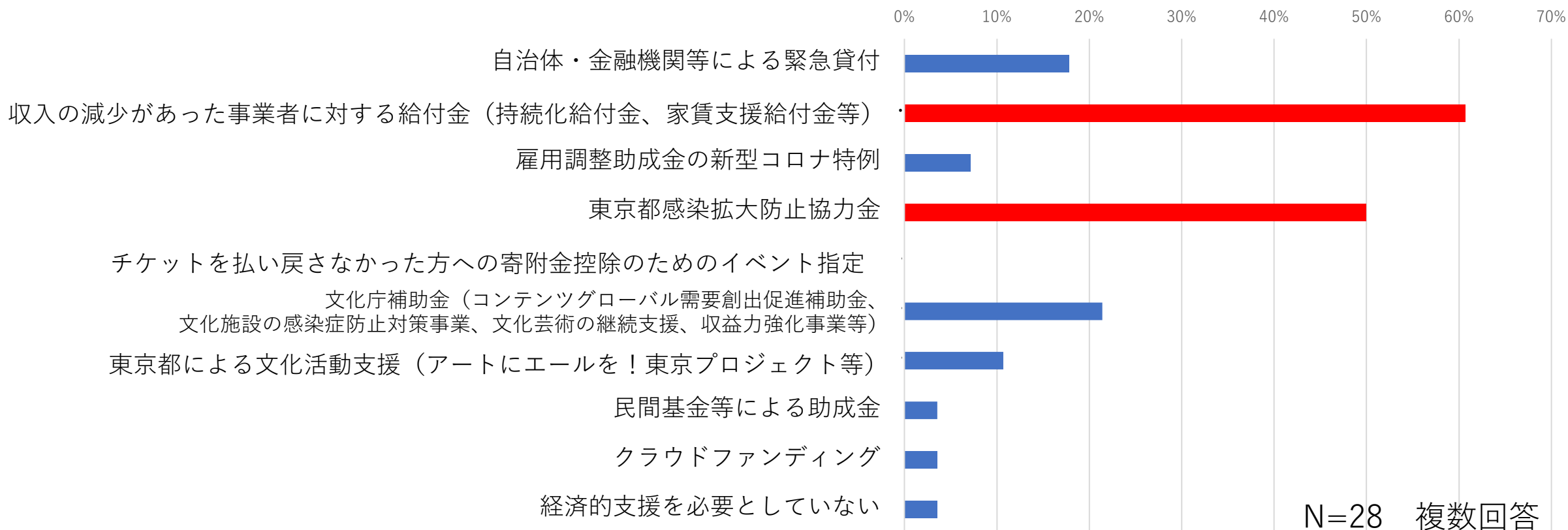
事業所対象アンケート | 必要としている支援



N=28 複数回答

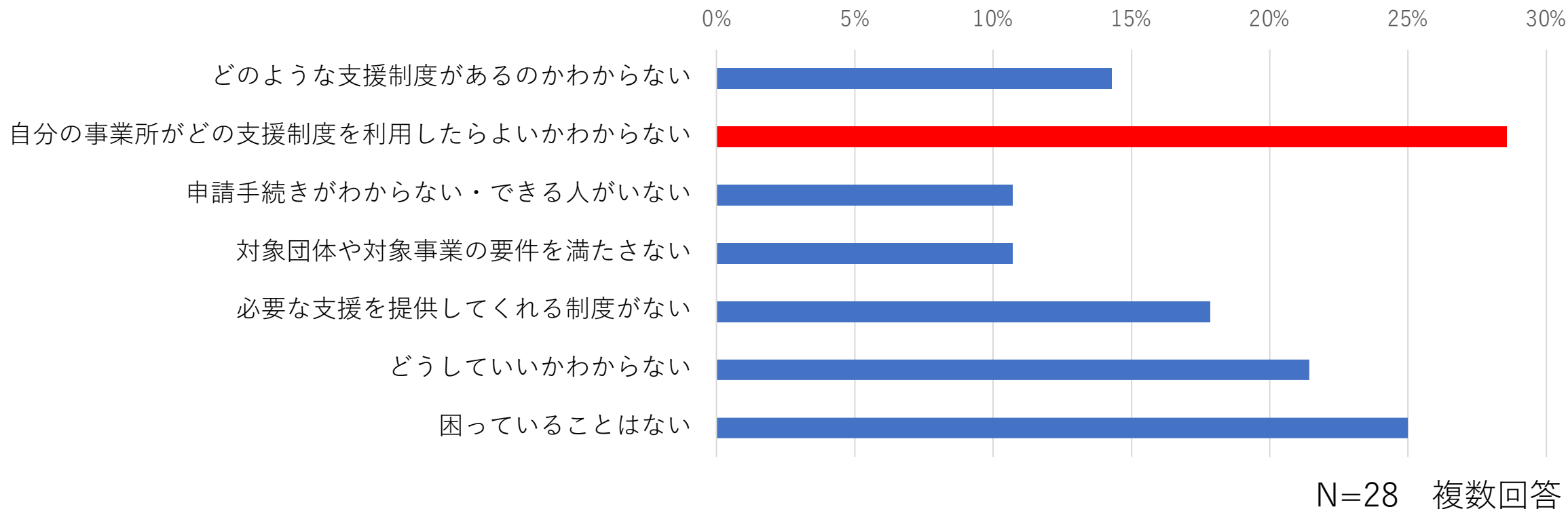
事業所対象アンケート | 活用している、または活用を検討している支援制度

収入減少に対する給付金、感染拡大防止協力金は約5～6割の事業所に利用されているが、他の利用は少ない。



事業所対象アンケート | 既存の支援制度を活用する上で困っていること

約3割が、どの支援制度を利用したらよいかわからないことに困っている。困っていることはないという回答も比較的多い。



自由記述

現在行っている工夫や取り組みについて

- オンライン読書会。ミーティングはほとんどがオンラインです。
- パフォーマンスイベントを実施した際、お越しになられなかった方々のために、facebookライブを併用してご覧いただいた。
- SNS（インスタグラム、FB、HP）を活用していますが、我々の作品及び活動を紹介するツールとしているだけであり、Youtubeなどの動画配信を通して教育現場で我々のアートをより楽しめる方向に繋げる活動計画です。
- 合唱団の練習をオンラインで行っている。
- 6月までは休業し、7月からは通常オープンにしているが、オンラインからも展示が見れるようにする試み、アーティストトークの動画配信等で集客減少の対抗策としている。
- ニコニコ動画で企画展を紹介/TV「BSぶらぶら美術館」/NHKあさいち「おうちで美術館」で企画展作品を紹介。
- 配信システムの構築中。

現在行っている工夫や取り組みについて

- 展覧会場は閉じたまま、窓に面する形で壁面を設置し、ウィンドウギャラリーとして外から見られる形で展覧会を行なっております。
- 教室開催の上で、飛沫予防対策プラスチック・セル板の使用。
- 独自開発の製品の普及による、コロナ感染リスク低減の助けになる事業。
- 歌う場合、通常マスクではなく、手ぬぐいを上端を輪ゴムで止めて耳に掛けると、アゴが自由になり、マスク機能のまま歌いやすくなります。
- 9月にグループ展の準備をしていますが、責任者とスタッフ間で衛生面の配慮にばらつきがある。衛生関連のハンドブックをダウンロードし、活動の際には必ず携帯するなどルール化したい。
- 観客の人数制限かつビニールシート等使用。
- ワークショップ開催の時間を大幅にずらし、受け入れ人数を減らして開催。
- 会場内の換気扇の点検・メンテナンス。

現在行っている工夫や取り組みについて

- 事務所を改装をして文化活動や地域の人々が安心して利用できるレンタルスペースを運営する予定。
- 意欲ある方達とのコミュニティの創生。
- 感染症対策以外にも安心を得られる方法をとること。
- 今年の計画をすべて来年に移行することとし、内容をグレードアップさせる方法を検討している。状況が改善されれば始動可能な状態にしておく。
- 他の地域から不特定多数を招く活動の自粛。活動はリモートで行う。
- 率先して活動を中止してコロナのストップを期待しています。

意見や要望：悩み・困りごと

- 本事業の運営に見通しがつかないと、博物館活動の再開が難しいのが現状です。
- 今後の活動基盤の整備として、この秋から事務所兼スペースを構える予定ですが、この時期に新たに活動を大きくするのが得策なのか、迷いがありながら、物件の契約もあるので進んでしまっている状態です。入居しても、スペースとしてオープンするタイミングをはかりかねますし、財源ありません。どうしたら良いかわからないままです。
- 合唱の活動に関して、適切な行動をどのようにするかという適切な報告がなく、ただマスクをして歌って、三蜜なところで2mのソーシャルディスタンスをとって練習はできません。となりの音を聞きつつ音を合わせていく作業は難しく、また高齢者が多く、感染は即死につながります。もしいい方法があれば教えてほしいです。リモートで練習などということも聞きますが、じじばばには無理です。現在は次回の曲の選考、CDを作成して、楽譜を配布して、個人練習をしています。

意見や要望：金銭的支援

- オンライン状況における特別支援金があれば助かります。貸付ではなく、半額助成でもなく全額助成など。
- 個人でも簡単に受けられる支援制度が欲しい。
- 文化芸術活動を継続させるための、機材（映像配信用撮影機材、有料配信ソフト、システム費用）や施設設備（除菌設備、換気設備）に対する支援を求めたいです。
- 現実的に困窮しているところに対するきめ細かい支援をしてあげてほしい。ライブの中止等で非常に困窮しているフリーランスのミュージシャンの友人がいる。
- もう少し金銭的に補助してほしい。
- 公演等に資金支援をお願い致します。
- 文化庁から出されている継続支援事業助成金は2/3(3/4)助成。まず何かをしなくてはならない。そして何かをするにあたっては自己負担金を捻出しなければならない。外注の業者は全額のお金をもらえるのに、一番困っているはずの文化芸術関係者は、自己負担でお金を出さなければならない。根本的に助成金の在り方がおかしい。満額助成、もしくは損失補てんをすることが文化芸術関係者を救い、今後の活動につながると思う。

意見や要望：金銭的支援

- Wi-Fi環境を作る費用援助が欲しい。
- コロナ禍における演奏会場での感染対策費用が分かりません。分かったとしても、どの程度主催者で負担できるのか分かりません。今後、会場を使用する場合、人や物でどれほど費用が掛かるのか規模別に知りたいです。高額になるのであれば、使用時に助成して頂けるとありがたいです。
- 入場者数の規制も行われるので、結果として入場料収入が減少することになります。公演費用を団員が追加負担するしか方法が無いようなところも多いと思います。是非、公演時に補助金を出して頂く制度も必要ではないかと考えています。
- 自治体等の一般企業向け（個人事業者もOK）の資金繰り関連の窓口は混雑してなかなか予約が取れない。文化芸術関係者向けの組織内に相談窓口があり、IDなどを発行してもらい、継続的に相談できる仕組みがあると嬉しい。
- 今年度創業直後、まだ事業収入が全くないうちにコロナになったので減収に該当しない。そういったスタートアップ企業が継続していけるように支援してほしい。ただし、返す見通しがないため融資は受けたくない。

意見や要望：オンライン化

- つくったものや作品を売するための通販サイトなどをたちあげてほしい。オンラインなので感染防止になる発表販売の場。
- 動画配信を始めるにあたり、知識、情報、（たとえばどんな機材が必要か？配信はどのように進めるか？etc・・・）知りたいところです。
- 動画配信についての情報、知識がほしいです。
- オンライン化のために通信がスムーズになるような整備を。
- 新型コロナ時の大相撲、野球等の無観客での墨田区文化祭の文化芸術活動の再開も今後考慮していただきたい。

意見や要望：感染予防対策

- ビニールシートや消毒等感染防止に最低限必要なものの支給や支援（ライブハウス等に対して）
- 人が安全に集まれる屋内外の施設（広さ）や防疫設備（換気・パーティション・シールド）、防疫手順（入場規制、入替、誘導、滞在時間など？）があると活動の練習や発表に使えてよいのではと思う。
- オフラインのイベント会場等での表現活動ができていけばと思っていますので、透明な仕切りですか？感染予防の為に設置するものの貸出とかあるといいなと思います。
- 屋外（公園や川沿い）での表現活動がスムーズにできれば、換気の面ではクリアしてできるのかしらと試してみたり。
- 劇場使用についてのガイドラインが現状のままでは、自主公演の企画が立てられず不安が深まっています。
- 感染拡大防止のためのガイドラインは充実しているが、文化施設から感染者が出た場合の事業者の取るべき基本的ガイドラインや、わかりやすいフローチャートもあるとありがたいです。

意見や要望：その他

- 国内国外のコロナ以降の企画事例紹介など情報提供があると助かります。継続的に情報が欲しいです。
- 対面による人との出会いを制限され、BestがダメならBetterをとオンラインを活用するしかないのが現状です。しかし、ITリテラシーの格差などでオンラインでのつながりは限られたものになります。すると、人とのつながりを持てない人が増えます。そういった人たちこそ、精神的に支えになる生きる糧としてのアートが必要です。私はそういった人たちが、身近に自然にアートの接することができるように常時、アート作品を街のあちこちに設置や展示、演奏などをする取り組みを公共が推進してくれるといいと考えています。
- 墨田区民、近隣地域のお客様へ優待できる補助があると良いです。情報も行き渡り活気つくのではないのでしょうか。アプリの活用でしょうか。
- 正しい情報の包み隠さぬ開示。
- 権力者に対する見栄えだけの政策ではなく、国民の声を聴いてほしい。
- アンケートだけでなくしっかりと具体的な支援を実行してほしい。

意見や要望：その他

- 医療関係者への報酬・手当、整備を優先してほしい。
- アートは人を集める力があるので、不特定多数が地域に訪れることは良くない。ここに生活と活動の拠点を置いている立場としては、外部から多くの人を訪れるイベント等は十分な精査をし、安易な招き入れはしないようにしていただきたい。
- アートは、人を集める力はあるが、本当に必要な文化活動なのかの精査が必要。
- いつまでも強制的な感染予防をするべきではない。いつの世も風邪をひく人はいる。

参考

- 福岡における文化芸術関係者の 新型コロナウイルスの影響に関するアンケート調査（大澤寅雄・古賀弥生・長津結一郎）
- 三重県における文化芸術関係者の 新型コロナウイルスの影響に関する実態調査（三重県内の文化芸術に関わる有志一同）
- 新型コロナウイルス感染長期化に対峙する 札幌の文化芸術関係者の活動再開への道を探るアンケート調査（関鎮京・小田井真美）
- 大阪における文化芸術関係者の 新型コロナウイルスの影響に関する実態調査（一般財団法人おおさか創造千島財団）
- 福井県における文化芸術関係者の 新型コロナウイルスの影響に関する実態調査（福井県内の文化芸術に関わる有志一同）
- 広島県における文化芸術関係者への 新型コロナウイルスの影響に関する実態調査（公益財団法人ひろしま文化振興財団）